

## 顧問 小栗監督 より

桃栗三年柿八年、ですから「邑の映画会」で育てた柿が実をつけるまでになったのですね。凄いことです。

小学生だった子供たちが高校生、その高校生たちが今もなお、映画会の運営に関わっていると聞いて、なおさらうれいします。

私の方は、前の作品から十年かかって、ようやく新しい映画「FOUJITA」を完成させました。十一月の映画会ではこのことの報告も出来そうです。

楽しみにしています。

映画監督 小栗康平



映画  
「FOUJITA」  
の撮影現場  
より



## 夢って、ゆら ゆら

映画って、素敵だね。同じ方向を向き、一つのを、暗闇の中で、皆で見る。ある時、2歳の孫の諒太がフェリーニ監督の『道』をDVDで見た。「かわいそうな、おねえちゃんのえいが、みたい…。」と、我が家の玄関の戸を開けると、そこに立ったまゝいつも言った。香光乃は「うさぎさんのえいが、みたい!」。慧太は今でも「クマの映画、やって!」と言う。それぞれのお気に入り。その3人が、去年の映画会で、声をそろえて言った。『裸の島』がよかったと。大人は、「こんな時代のこと、分からないんじゃない?」と。そうではない。わかるのではない。小さな子どもだからこそ、自然の中から生まれ出た、その感覚の鋭さが、心の中に映すのだ。子どもたちを見ていて、そう思う。映画を見ていて、そう思う。

今回の上映作品『埋もれ木』は、「私たちはもっと自由に、もっとところ豊かであっていい」と。監督の映画は、いつもそう、近代都市の上には、成り立たない。見失いそうで、どこかに紛れこみそうな、人や物の佇まい。山や川、月や木々…。光や影、ふるえる画像は時代を描いて、美しい。「夢って、ゆらゆら」。見ているものに、問いかける。

こうして、私たちは、8年も監督の感覚にふれてきた。これは凄いこと。その監督が、「埋もれ木」から10年。待望の映画『FOUJITA』を完成。どの映画も、誰にも表現できない小栗映画だけど、この作品は、特別。「監督は、この映画を作るために、生まれてきたのですね。」と監督に伝えたい。いつかこの日がくると皆で希っておりました。戦後70年。10月29日は監督70歳の誕生日。この世のものとは思えないものが映画で表現できるとしたら、『FOUJITA』は、まぎれもなく、監督の『映画は夢』そのもの。どうぞ、皆様、劇場でごらんください。

あなたのゆらゆら揺れる感覚の中で。楽しんでいただきたい至宝の映画。監督、おめでとう。

映画を作る人、上映する人、見る人、「第8回邑の映画会」。どうぞ、ごゆつくり、お楽しみください。

邑の映画会実行委員会会長 アーティストック・ディレクター 加藤 一枝

邑でみた風景  
邑でみた映画  
ずっとずっと伝えたいもの

# 邑の映画会 かわらばん Vo18

MuRA  
cinema association

## ～ 自分の夢と仲良くしよう ～ 高校生スタッフ

### \*\*\* 「夢」は素晴らしい \*\*\*

私にとって夢は必要不可欠なものである。なぜなら、夢は自分の中で目標や希望と共有できる。また、どんな時でも老若男女持つことができ、持ち続けることができる素晴らしいモノであり、人々が生活する上で「一生懸命」を生む原動力になってくれる魔法のようなものであるからだ。

私の夢は教師になることだ。私がお世話になった先生は、学校に行くと毎日、心から楽しそうに私たちと接してくれて、「私も将来はこんな先生になりたい」という気持ちが芽生えた。また、「誰かの為に役に立ちたい、頼りとされる人になりたい」という気持ちもあり、将来の夢として志すようになった。

しかし、夢の実現には必ず大きな試練が待っている。私にはすぐ「大学受験」という壁が待っているが、どんなことも努力すれば乗り越えることができるし、必ず夢の実現に近づくことができる私には信じている。

夢は叶える為にある。叶えられない夢などない。夢は努力すれば絶対に叶えられることができる素晴らしい魔法なのだ、私は思っている。(太田東高等学校 3年 小林 黎士)

### \*\*\* 私の将来の夢 \*\*\*

私の将来の夢は、金融関係の事務職に就くことです。小さい頃から事務職に憧れをいだけいており、お金を扱ったり、お客様と対応したりする姿を見て、とても素晴らしかったからです。

いつか私も大切なお金を管理し、お客様からこの人にだったら預けられると思っていただけに、日々頑張っていきたいと思います。(館林女子高等学校 3年 茂木 彩夏)

### \*\*\* 私の夢 \*\*\*

私の将来の夢は、小学校の頃から変わらず保育関係の仕事をする事。しかし、進路を本格的に決めなければならない今年の夏に、「本当に保育関係の仕事で良いのだろうか。」と

迷いが生じてしまった。

そんな時、学童保育所でボランティアの募集をしている事を知り、良い機会だと思い参加した。100名程の小学生が参加する1泊2日のお泊りキャンプ。そこで、初めて子どもたちは「さき先生～」と元気いっぱい話しかけてくれたり、一緒に遊んだりした。この時、私が本当にやりたい事は、保育に関することだと確信することができた。夢の実現に向け、これからの日々、努力する事を忘れずに過ごそうと思う。(大泉高等学校 3年 茂木 紗希)

\*\*\* \*\* \*

中学校か高校の国語の先生になりたい！

(清泉女子大学 1年 新井真帆)

\*\*\* \*\* \*

働くのはもちろん、

だけど理想は良い家庭を築いて。

立派な旦那さんになる！

(太田東高等学校 3年 戸叶 唯人)



高橋さん、真帆ちゃん、唯人くん、紗希ちゃん、黎士くん、彩夏ちゃん、加藤さん

第7回 片づけの終わった会場にて

## 邑の映画会 第7回の感想

《おとなが見まもる 子どものまなざし》

板橋さん「子どもたちがスタッフとして参加していることは素晴らしいことだと思います。将来、創造力のすぐれた人になると思います。それに、もちろん熱心な映画ファンにもなると思います。」

斎藤さん「リュミエール作品から砂の城までは、子どものころにかえった気分で。夢の森は小津監督作品を事前に見ていたらもっと多くのものが感受できたかなと思います。通ったことのある小学校でこんなすてきなイベントがあって楽しく鑑賞しました。来年も行きたいです。」

松井さん「素晴らしい映画をありがとうございました。特に『裸の島』泣けました。」

竹内さん「心に残る映画でした。この映画が見られて良かったです。」

飯塚さん「初めて参加させて頂きましたが、とても興味深くなかなか経験のできないものとなりました。この機会を知り、教えてもらった事に感謝。素晴らしい映画会でほほえましかったです。子どもたちの情熱にも感動しました。疲れている私に少しいやしがりもらえてよかったです。ありがとう。」

林里さん「友人にお誘いをうけて、今日は楽しみに伺いました。まず、素晴らしい取組に感動です。子どもたちの輝いた顔がとてもステキでした。『裸の島』、色々と考えさせられました。ただ、アニメ作品はもっと夢のある作品だと良かったのですが……。ありがとうございました。」

大川さん「前半はめずらしい貴重な映像でしたが、心が広がるようなワクワクするあなたのいいものがないかな～と。『夢の森』笙の音と虫の音につつまれはじまる小栗監督の話は、自然にあふれお話も素晴

らしかった。『裸の島』はきびしい自然での四季。家族の営む淡々と厳しくも原点につながる尊い映像でした。ゆったりとした波の音と重なるような音楽がほーっとしました。」

**米山さん**「貴重な映画を視聴できてよかった。これからも楽しい映画上映してください。」

**鈴木さん**「スリッパや靴用の袋等、心配りがありよかったです。昔ながらのよさのある映画でした。」

**碓さん**「世界で初めてできた映画に注目され、映画会を企画されたことはおどろくべき快挙です。聞くと見るとでは大違いで得がたい体験をさせていただいたことにとても感謝いたします。」

**飯田さん**「『裸の島』は何十年か前に観ました。今になって新藤監督の思いが深く感じられました。」

**寺岡さん**「映像から見えるもの、それは、撮る人の内面すべてが語ってくれるのだ、響かせてくれるものだとわかりました。初回と七回目だけで途中がぬけ、精選された優れたものを逃し残念でたまりません。でもその過程の成長が手にとるように届きました。魅力、訴える力、素晴らしさをもっと探っていきたいし、加藤さんはじめスタッフの方々感謝します。」

**青鹿さん**「歴史的な映画をみられてよかったです。」

**竹内さん**「どの映画もすばらしかったです。観たあとの感動すがすがしさは格別です。人間の原点を見た感じです。これからも期待しています。」

**降旗さん**「今年もありがとうございます。また、大変な作品だったと思います。おつかれさまでした。『夢想の森』『裸の島』とても良かったです。」

**佐川さん**「とてもかわいらしい映画が多かった。前半は、短いものを色々な種類が見られて面白かった。」

**笹川さん**「とてもすばらしい取り組みだと思いました。映像教育にこれからも期待しています。」

**大嶋さん**「世界で初めての映画が見られて良かったで

す。今回は、小学生には少しむずかしかったかもしれませんね。『鬼』今昔物語をまた読み直してみます。」  
**木暮さん**「子どもたちやスタッフのパワーを毎回感じます。回を重ねる毎に観る人が多くなっている様に思います。今後も続けていけるように支援しております。『裸の島』はいつ観ても名作ですね。」

**原田さん**「リュミエール映画ありがとうございます。」

**赤坂さん**「20数年前、島尾敏雄原作の『死の棘』にわたしが求めていたものは、およそ小栗監督の世界とは相容れない『黒澤物』や『ハリウッド物』それに近かったのだなあ。今回『夢想の森』を見ながら、あらためてそう思いました。原作者が他の複数の監督からの映画化希望を拒否した理由もそのへんにあったのでしょうかねえ。」

**島田さん**「古いのに新鮮で心の翼を沢山遣いながらの時間でした。加藤さんからチラシをいただいた時から私の中で邑の映画会ははじまっていた。ご苦労様でした。」

**代田さん**「映画ってこんなに楽しめるものかと思いました。」

**赤坂さん**「また貴重なフィルム、作品と出会えたと感謝します。小栗監督お見えになれませんでした。『夢想の森』で、もっと深く監督さんを知れた気がしました。『FOUJITA』楽しみにしています。『裸の島』主人が昔見て感動し楽しみにしていた作品です。生きるとはなんと過酷なのでしょう。涙が止まらずことばになりません。静かに強く心うたれました。ありがとうございました。」

**竹内さん**「『夢想の森』で小栗監督が述べておられた言葉はとても心に響きました。『裸の島』は見応えがありました。子どもの頃の記憶がよみがえりました。」

**竹内さん**「言葉に頼らない映像の力を感じました。回

を重ねるごとにすばらしい映画に出会えてうれしいです。また、次が楽しみになりました。」

**加藤さん**「以前から観たいとの会、願い叶いました。」

・「素晴らしかった。来年を楽しみにしています。」

・「『鬼』がおもしろかった。尺八の音色が画像と相まってストーリーを盛り上げていた。美しさも感じた。月世界旅行も楽しかった。」

・「『夢想の森』『裸の島』を見ることができよかった。貴重なフィルムを見せていただきました。」

・「すばらしい映画をありがとうございました。子どもたちがよくがんばってとてもえらいです。ありがとう。」

・「なかなか見られない映画を見られるのが良い。文化の日は行事が重なってなかなか来られなかった。第一回の『泥の河』『木を植えた男』は今も思い出す。次回も来たい。」

・「みなそれぞれ味わい深かった。実行委員のみなさんお疲れ様でした。ありがとうございました。」

・「リュミエールは100年前の西洋の様子がおもしろかった。月世界もユニークでした。貴重な映像で楽しかった。」

・「映画学科の授業ではないのだから、むずかしい映画は必要ない。」

・「『裸の島』は女性の方が重労働をしていると思ったら悲しくなりました。昔の日本の貧しさも思いました。」

・「よい映画を見て思い出になりました。」

・「とてもすばらしかったです。良い時間をすごせました。ありがとうございました。」

・「リュミエール最初の映画はその時の人の動きを見事に捉えていてすばらしいものでした。月世界旅行は細やかな仕掛けや人の演技力、構成がこの時代としては驚くべき仕上がりだと感動しました。」

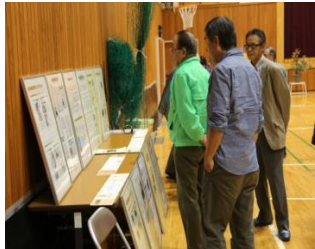
- ・「毎年、楽しみに見せて頂いています。ありがとうございます。普段観ることのない映画すばらしいです。大変ですが、加藤様、スタッフの方、ご苦労様です。」
- ・「120年、100年前に映画、月世界旅行など考えられない時代にとてすごいと思いました。」
- ・「はじめて昔の映画を見れて、おもしろかったです。」
- ・「貴重なフィルムを身近な場所で見ることができ、とてもよかったです。無声映画は想像力をかきたてられました。子どもも飽きずに見ていました。」

感想を寄せてくださったみなさま、ありがとうございました。

えいがって楽しいね！ みんなでワイワイ！



真剣！動いて見える？



大きなスクリーンと手作りの会場で、今回も素敵な時間をみなさんと過ごせますように・・・

スタッフ  
集合！  
大スクリーンの前で



実行委員、東奔西走。チケット売りがんばり

● **実行委員** 新井幸子 新井正一 糸井徹 猪越京子 遠藤牧子 大川玉枝 大久保純夫 大塚初代 大島聡 岡田悦代 小熊良雄 小倉章利 加藤あや 加藤一枝 上遠野良一 苅部麻代 川島功 木村信洋 栗原知子 紺野尋子 坂本順子 坂本文江 櫻井ちあき 塩井早苗 島田えり子 須藤のり子 諏訪百合子 関谷京子 高橋正明 竹内威夫 竹内美斗利 田部井三枝子 田村実 対比地味子 富田豊子 中繁キミ子 中谷和子 永本浩之 長谷川カツ江 長谷川鈴子 濱田光恵 廣越恭子 藤井雅路 降旗りの 松井ひろか 宮城英子 茂木一夫 森和男 森田義雄 安富光子 安富耕二

● **顧問** 映画監督 小栗 康平

邑の映画会実行委員会は、群馬県の「映像教育」を継続・発展させ、すぐれた映画作品の上映、および、顧問小栗康平監督の講演を通して、豊かな感性を育み、映像を学ぶための活動を行うことを目的とします。



このマークは、中国・チベットの少数民族「ナシ族」に伝わる象形文字【Dongba:トンパ】から「あかりを消して」の意味があります。

<協力>

- ・東京国立近代美術館フィルムセンター
- ・株式会社 KADOKAWA
- ・Societe Radio-Canada
- ・(株) 群馬 AV センター (上映担当)



<協賛>

館林西ロータリークラブ 社会福祉法人館邑会  
朝日印刷工業株式会社 高源寺 恩林寺 大信寺  
加藤医院

<邑の映画会組織> 主催/邑の映画会実行委員会

- ・事務局 (邑楽郡邑楽町光善寺 275-2)
- ・ボランティア/子ども映像スタッフ・大人支援スタッフ
- ・邑の映画会会員 (映画会の情報をご案内します)
- ・ぐんま映像教育研究会

<邑の映画会・群馬県の映像教育のことをもっと知りたい方は>

- ・小栗康平オフィシャルサイト [OGURI.info](http://OGURI.info)  
[www.oguri.info](http://www.oguri.info)
- ・邑の映画会HP  
<http://kenokuni.jp/muracinema/>
- ・邑の映画会実行委員のページ  
[http://blog.livedoor.jp/mura\\_cinema/](http://blog.livedoor.jp/mura_cinema/)
- ・ぐんま映像教育研究会HP  
[http://www.karayan.info/~edu\\_eizo/](http://www.karayan.info/~edu_eizo/)